

NO	事業名	事業内容	成果指標	現状値 (R1年度)	【参考】 実績値 (R2年度)	実績見込 (R3年度)	目標値 (R6年度)	後期スケジュール	後期進捗状況			連携する市町村										新潟市担当・連絡先		NO
									進捗概要	予定との比較	左欄が「予定どおり」 以外の場合の理由	三条	新発田	加茂	燕	五泉	阿賀野	胎内	聖籠	弥彦	田上	阿賀	課・担当者	
1 圏域全体の経済成長のけん引																								
1	新潟広域都市圏ビジョン懇談会の設置・運営	圏域内の産業界、大学、金融機関等の関係者により構成される新潟広域都市圏ビジョン懇談会を開催し、連携事業全体のフォローアップを行うとともに、今後の圏域の在り方について意見交換を行う。	連携事業の成果指標達成率	89.6%	87.5%	本照会で全事業の達成状況を集約するため、現時点では数値不明	90.0%	10月下旬 企画担当課長会議 1月中旬 連携事業後期進捗状況照会 1月下旬～2月上旬 企画担当課長会議 2月上旬 新潟広域都市圏ビジョン懇談会開催	・10/22～29 企画担当課長会議(書面協議)開催 ・1/4 連携事業後期進捗状況照会発行 ・1月下旬に企画担当課長会議(書面協議)、 2/8に新潟広域都市圏ビジョン懇談会を開催し、 第1期総括や連携事業の進捗状況、追加・拡充 事業の報告を行う。	予定どおり										政策企画部 小林	226-2153 (内32153)	1		
2	新潟地域産業見本市開催	新潟市において開催している商談型産業見本市を、連携市町村内の企業の更なる参加を得て開催し、販路拡大や新事業展開の取組を促進する。	連携市町村域内での出展企業数	23社	12社	15社	25社	10月中旬 産業見本市開催	10/14,15 産業見本市開催	予定どおり										産業政策課 井島	226-0550 (内線なし)	2		
3	にいがた若手商人塾開催	若手経営者の育成を目的として実施している「にいがた若手商人塾」の受講対象を、連携市町村へ拡大し開催する。	連携市町村からの塾生受け入れ割合	5.0%	0.0%	0.0%	10%以上	10月～2月 定例会を開催(運営や企画立案は塾生が自主的に)	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、運営を行う塾生との協議により定例会の実施を停止している。	予定を下回る										商業振興課 遠山	226-1633 (内31633)	3		
4	NIIGATA SKY PROJECT	NIIGATA SKY PROJECTに参画する圏域内の企業による航空機部品の共同生産体制の確立や無人貨物飛行機の開発を産学官連携で支援するとともに、国や県、連携市町村等との情報共有を図る。	情報交換の実施回数	1回	1回	1回	1回	10～3月 想定連携先との意見交換会の開催	前期(8月4日)に三条市、燕市、五泉市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町とオンラインで意見交換を実施でき、進捗状況は予定どおり。	予定どおり										成長産業支援課 五十嵐	226-1694 (内31694)	4		
5	DXプラットフォーム構築事業	次世代通信規格5Gを敷設したオープンラボを開設し、事業者の5G体感や技術検証の場を設けるとともに業種間の垣根を超えた意見交換、事業提案、プロジェクト組成、推進のためのプラットフォームを設け新規ビジネスの創出を支援する。	プラットフォーム会員企業数(圏域内)	-	-	43社	10社	10～3月 会員企業募集の周知について連携市町村へ協力依頼	前期(8月4日)に三条市、燕市、五泉市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町と、後期(11月29日)に阿賀町とオンラインで意見交換を実施し、事業内容を周知できた。1月11日現在の圏域内の会員企業数は43。	予定どおり									成長産業支援課 五十嵐	226-1694 (内31694)	5			
6	食材ブランド力強化	農水畜産物の広域的な販売促進のため、連携してプロモーションを実施し、地産地消と販路拡大に繋げ、農業経営基盤強化に寄与する。	他市町村と連携した農水畜産物のプロモーション実施回数	2回	2回	2回	2回	～2月 連携可能性のある事業について連携市町村間で情報共有及び連携調整 3月 今年度事業について振り返り	コロナの感染拡大により、ビジネス活動が制限を受けた中、比較的感染状況が落ち着いた時期にプロモーションを国内外で実施できた。(10月中国、11月フィリピン)しかし、連携してのプロモーションは実施が難しい状況だった。	予定どおり										食と花の推進課 野坂 産業政策課 白井	225-226-1864 (内31864) 225-226-1620 (内31620)	6		
7	広域観光周遊ルート形成	H30作成の「広域都市圏観光情報サイト」の保守・運営を行い、圏域の観光情報集約サイトとして情報発信を行う。また、H29作成の5言語版パンフレットを活用し、空港や観光案内所への設置及びAMN/ジャンプ等で観光プロモーションを行うほか、圏域で開催されるコンベンション等(MICE)で配布する等、MICEにおける相互連携を行う。	飲食・宿泊業売上金額(経済センサス)	197,252百万円 (H28年度)			213,032百万円	・圏域市町村と連携し、当ホームページを運用する。	・圏域市町村と連携し、当ホームページを運用した。 ・市町村別掲載記事数:新潟市…52、三条市…30、新発田市…27、燕市…26、五泉市…20、阿賀野市…15、胎内市…11、聖籠町…12、弥彦村…13、田上町…11、阿賀町…14、加茂市…20	予定どおり										観光推進課 島田	025-226-2614 (内32614)	7		
8	新潟港クルーズ客船誘致受入	新潟港に寄港するクルーズ客船の誘致・受入に関し、情報と課題を共有し、連携して対策を協議・実施する。	意見交換回数	2回	2回	2回	2回	<年末前後> 各市町村への訪問または文書等により、クルーズ船寄港・寄港地ツアー等の情報共有を行うとともに、各市町村の意見聴取を行う。 <随時> 新潟港クルーズ客船受入協議会にて、寄港情報など随時共有していく。	各市町村へ11月に文書にて情報共有、および各市町村のクルーズ用観光コンテンツについて情報共有を受けた。今後、各市町村から集まった情報をまとめ、かつクルーズの寄港情報も更新し、今年度中に再度共有予定。	予定どおり										観光推進課 畑	025-226-2611 (内32611)	8		
9	新潟市まちなか・観光交流拠点等整備	新潟市の文化、観光施設等を整備することで、圏域の中心市としての魅力向上、活性化等を図り、圏域内外からの人を引き付ける魅力的な空間創出等を推進する。	新潟市観光入込客数	1,864万8,265人	1,082万1,541人			例年11月初旬に新潟県より発表されるため、現時点では数値不明	(R3該当整備事業(地域活性化事業債充当事業)なし)	予定どおり												9		
10	圏域内二次交通整備事業	空港や駅、港と圏域内の観光地等を結ぶ二次交通の検討を行うとともに、需要に応じた二次交通の運行等を連携して行う。	路線数	1路線	1路線	1路線	1路線	・期間中、事業の進捗に応じて随時関係者による会議開催、新潟県との定期的な意見交換に参加。 ・10月～1月関係者等と本格運行に向けた協議・検討 時期未定 関東圏、関西圏、隣県でのプロモーションイベント実施、エージェンツセールス商談会参加予定	・10月に本格運行に向けた運行路線・運行体制について意見交換会を実施。(新潟市・弥彦村) ・11月に新潟県と二次交通運行自治体との意見交換会に参加。(新潟市・弥彦村) ・11月に関西での商談会に参加。(新潟市) ・12月に新潟運輸支局と本格運行に向けた協議を実施。(新潟市・弥彦村) ・12月に大阪府でプロモーションイベントを実施。(新潟市) ・1月に本格運行に向けて、新潟運輸支局へ申請書を提出予定。(新潟市・弥彦村・交通事業者) ・2月に新潟市と弥彦村の各関係団体と協議会を設立予定。(新潟市・弥彦村)	予定どおり											西蒲区産業観光課 赤川 大	0256-72-8417 (内8418)	10	
11	圏域内三次交通整備事業	岩室温泉を起点として、角田山麓や岩室エリア、弥彦エリアの主要な観光資源を巡る観光周遊バスの運行を連携して行う。	路線数	1路線	1路線	1路線	1路線	・運行期間中、バス停管理、広報活動、新型コロナウイルスの感染拡大防止措置(9/4～9/12休)を行い、円滑な運行を実施。 ・弥彦観光協会、いわむら案内人等と連携したまち歩きイベント実施。 ・11月に弥彦村と次年度運行に向けた意見交換を実施。 ・12月に協力店舗等関係団体とミーティングを開催し次年度運行について意見交換を実施。 ・2月に地域公共交通会議で本格運行に向けて協議予定。	・運行期間中のバス停管理及び広報における活動、協力店舗への周知、イベントなど弥彦村と情報共有しながら連携して実施。 9月4日から10月31日 試験運行 10月～1月関係者等と本格運行に向けた協議・検討	予定どおり										西蒲区産業観光課 毛嶋 直喜	0256-72-8417 (内8418)	11		
12	新潟市北京事務所活用	新潟市北京事務所を活用し連携市町村の情報発信をすることで、経済や観光の交流促進を図る。	北京事務所を活用した連携市町村による情報発信数	3回	0回	0回	-	中国への情報発信案件を連携市町村に照会(随時)	(照会を見合わせ)	予定を下回る											国際課 諸橋	226-1671 (内31671)	12	
2 高次の都市機能の集積・強化																								
13	高度医療サービス提供	新潟市における救命救急センターの充実により、新潟医療圏において高度な医療サービスを提供する。	新潟市民病院「急患外来」における二次・三次救急患者の占める割合	50.9%	54.3%	54.1%	50.0%	11月 assh(新潟日報社発行情報誌)にて適正受診に係る記事を掲載する。 12月 在宅医療・介護の体制整備を目的とした新潟市町村情報交換会を開催する。	○在宅医療・介護連携推進事業として近隣市町村情報交換会を今年度3回目12月3日にオンラインで開催。担当者及び医師会等に属するコーディネーターが参加、ICTを活用した医療・介護連携の現状と課題をテーマに情報共有、意見交換を行い、今後も継続して実施することを確認した。 ○ホームページを活用し、近隣市町村を含めた住民への適正受診への周知に取り組んだほか、高校生・大学生向けに医療についての出前講座を実施し、啓発を行った。	一部予定変更	広報手段の変更									市民病院経営企画課・神蔵 地域医療推進課・秋山	281-5151 (内3303) 212-8018 (内38018)	13		
14	新潟駅周辺整備	在来線の高架化や新幹線・在来線同一ホームによる乗り換えの利便性向上、また駅前広場や高架下交通広場の整備により駅南北の連続性を高め、圏域内外へのアクセス拠点としての機能強化を図る。さらに鉄道横断箇所における交通混雑を緩和するため、周辺道路の整備を行う。	新潟駅一日平均乗車人員数	36,398人	24,849人		36,400人	随時、事業の大きな進捗状況に応じて各連携市町村へ情報を提供する。(新潟市から各連携市町村へ資料を送付する。) 【主な予定】 ・区画道路1号から2号工事着手 ・高架側道1号工事着手・2号(西側)完成 ・旧JR東日本新潟支社ビル撤去完了 ・在来線高架化工事概成	・2月下旬頃、連携市町村へ進捗状況等の資料送付予定 ・区画道路及び高架側道1号は入札不調の影響により今年度工事着手予定 ・高架側道2号(西側)完成、支社ビル撤去完了及び在来線高架化工事概成は3月末予定	予定どおり										新潟駅周辺整備事務所・帯川	025-245-1260	14		

NO	事業名	事業内容	成果指標	現状値 (R1年度)	【参考】 実績値 (R2年度)	実績見込 (R3年度)	目標値 (R6年度)	後期スケジュール	後期進捗状況			連携する市町村										新潟市担当・連絡先		NO				
									進捗概要	予定との比較	左欄が「予定どおり」 以外の場合の理由	三条	新発田	加茂	燕	五泉	阿賀野	胎内	聖籠	弥彦	田上	阿賀	課・担当者		電話番号			
15	新潟空港利用活性化	新潟空港の利用活性化を図るため、各市町村と情報・課題の共有や広報の連携を行う。	意見交換回数	2回	0回	2回	2回	<年末前後> 各市町村への訪問または文書等により、取り組みの進捗や利用状況、各市町村における動向などについて意見交換をし結果を共有する。 <随時> ・空港利用活性化に係る情報の共有、周知を行う。	11月、各市町村へ新潟空港ファンクラブのキャンペーンの周知の依頼を行うとともに、ハイクラス外国人向けの観光コンテンツについて情報共有を受けた。今後、各市町村から集まった情報をまとめ、今後の活動予定などを含め、今年度中に共有予定。	予定どおり															観光推進課 佐久間	025-226-2607 (内32607)	15	
16	農業活性化研究センター活用	農業活性化研究センターで実施した栽培実証試験の結果を公開し、その活用を促進する。また農業者等向けに6次産業化や農工商連携に向けた支援(研修会・セミナー開催等)を行うとともに、栽培技術や品種選定の相談対応業務の対象者拡大等に向けた検討を行う。	研修会等開催回数	4回	4回	4回	4回	・該当月 農業者・加工業者向けセミナーの内容が決定次第案内送付	10月20日 農業者向けセミナー(動画配信)の内容決定、講演依頼(3回分) ※今後の予定 1月末 動画配信データ納品 2月20日 市報にいがた掲載 3月上旬 動画配信	予定どおり															農業活性化研究センター 戸田	025-362-0151	16	
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上																												
17	訪問看護普及啓発	在宅医療、在宅介護における看護職員の確保のため、二次医療圏域の市町や関係団体・機関等と連携して訪問看護研修会を開催する。	研修会開催回数	2回	1回	2回	2回	10月 研修会開催 11月 広域市町村へ研修会開催報告文書を送付	〇看護協会共催3職能合同研修会 10月23日、新型コロナウイルス感染症をテーマにハイブリッド形式で開催。広域市町村からの参加あり、陽性者受け入れ病院の状況を共有し各職域での役割を再認識できた。12月にアンケート結果を送付し共有した。 〇OnCanミーティング 10月28日、外来看護をテーマにオンラインで開催。広域市町村からの参加あり、事例をもとに切れ目なく支援する体制づくりについて考えることができた。	予定どおり																地域医療推進課・ 秋山	025-212-8018	17
18	子育て支援パスポート利用促進	「にいがたっすこやかパスポート」について、連携市町村の協賛店舗でも特典が受けられるように検討・調整する。また連携市町村が実施している同事業については、新潟市の協賛店舗でも特典が受けられるように検討・調整する。	子育て支援パスポートの満足度	82.3% (新潟市)		アンケート未実施のため不明	85.0% (新潟市)	10月～12月 次年度事業について協賛企業等へ周知 1月～3月 事業ポスター等作成、配布	10～12月 事業ポスター案作成 1～3月 次年度事業について協賛企業等へ周知、事業ポスター印刷、配布	予定どおり																こども政策課 企画管理グループ 佐藤	025-226-1193 内線 31194	18
19	子育て支援センター相互利用	子育て支援センターの利用拡大に向けて、各市町村間で施設紹介やイベント情報のパンフレットを作成し、積極的な情報発信を行う。	新潟市外在住者利用数	4,664人	2,609人	2,000人	5,000人	10月～ 前期収集した情報の発信 2月 新潟市外在住者利用者数把握(4月～12月)	情報発信用チラシの修正。(新潟市のLINEを活用した内容に変更) 新潟市外在住の利用者数の把握。 4月～9月 528人 10月～12月 現在集計中	予定どおり															保育課 長谷川	025-226-1216 (内31216)	19	
20	公共施設等相互利用(公共施設等総合管理計画)	各市町村における公共施設等総合管理計画について、取組内容の向上を目指し、情報交換会を開催する。	公共施設総合管理計画に関する情報交換の開催回数	1回	1回	1回	年1回	11月 情報交換会の開催	以下のとおり、書面による情報交換会を開催。 ・実施時期:11月～12月 ・議題:公共施設等総合管理計画の改定 ほか	予定どおり															財産活用課 福田	025-226-2386 (内 23286)	20	
21	図書館相互利用	図書館について相互利用協定を締結し、各市町村相互の住民に対し、図書資料貸出等のサービスを実施する。	新潟市との相互利用市町村数	9市町村	10市町村	10市町村	11市町村	毎月 各市町村担当課から前月の実施状況の報告集約し、共有する。 三条市とは引き続き協議を続ける。	毎月 各市町村担当課から前月の実施状況の報告を集約し、共有している。 三条市とは引き続き協議を続ける。	予定どおり															中央図書館 サービス3グループ 青野	025-246-7700 (内線*67204)	21	
22	公民館相互利用	各市町村が有する公民館について、住民の利便性向上を図るため、各市町村間の相互利用の促進について協議する。	公民館相互利用に向けた意見交換会の開催回数	1回	1回	0回	年1回	意見交換会の実施 意見交換会で出された課題等の整理	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、意見交換会の開催は見送ったものの、開催を希望していた自治体と電話で意見交換を行った。	予定を下回る	コロナ禍の中、意見交換会の開催を望む自治体が少なかったため。														中央公民館 岩本	025-224-2088 (内 33294)	22	
23	スポーツ施設相互利用	各市町村が有するスポーツ施設について、住民の利便性向上を目的に、相互利用の促進について協議する。	スポーツ施設相互利用に向けた意見交換会の開催回数	1回	1回	1回	年1回	10～11月 意見交換により、課題の取りまとめ(新潟市及び連携市町で連絡調整) 12月以降 今後進めるべき取組みの検討(新潟市及び連携市町で連絡調整)	2月 メールによる文書協議にて意見交換(予定) 3月 意見交換内容の共有及び課題の整理(予定)	予定を変更	実施時期の変更をしたため														スポーツ振興課 橋本	025-226-2591 (内32592)	23	
24	生涯学習人材バンク情報共有	生涯学習人材バンクに登録されている講師情報を新潟市及び連携市町村間で共有し、生涯学習の促進を図る。	新潟市との情報共有市町村数	6市町村	7市町村	7市町村	7市町村	～3月 人材バンク情報について可能となった市から連携を開始(リンクアドレスを共有)する。 1月中旬 連携事業進捗状況照会	～3月 人材バンク情報について可能となった市から連携を開始(リンクアドレスを共有)する。 2月 各市連携事業進捗状況共有	予定どおり															生涯学習センター 朝妻	025-224-2088	24	
25	文化・観光施設利用促進	各市町村で発行する広報誌等に、各市町村にある文化・観光施設の共通割引券を掲載することで、相互の入館者数増加を図る。	共通割引券の各市町村広報誌等への掲載回数	11回	12回	12回	11回	1月 対象施設及び広報誌割引券掲載日の調査 3月 広報誌へ次年度分の共通割引券についての広報を掲載	これまで当市では割引券を市報掲載していたが、令和4年度以降は、市内公共施設等に設置することとし、準備を進めている。	予定を変更	新潟市において、割引券の市報掲載が不可となったため														文化政策課 山岸	226-2560 (内32559)	25	
26	コンパクトシティの推進	立地適正化計画に基づき、コンパクトシティ・プラスネットワークに資する各種施策を、連携市町村と情報共有を図りながら推進する。	コンパクトシティの推進に関する情報交換の実施回数	1回	1回	1回	年1回	9月頃 照会(担当:新潟市) 10月頃 回答集約(担当:新潟市) 11月頃 集約したデータの共有(担当:新潟市)	1月 設問作成中(担当:新潟市) 照会(担当:新潟市) 2月 回答集約・集約したデータの共有(担当:新潟市)	予定を変更	情報共有する項目の希望がなかったため															都市計画課 千代	025-226-2679 (内32680)	26
27	信濃川やすらぎ堤賑わい創出	魅力ある水辺空間の創出を図るため、民間資金やノウハウを活用した信濃川やすらぎ堤の有効活用を一層促進し、持続可能なエリアマネジメントの構築を図るとともに、水辺活用事業について、連携市町村と情報共有を行う。	信濃川やすらぎ堤ミスベリング 来客数	40,300人		26,700人	現状値以上	11月 R3年度の取り組みの振り返り 12月 関係市村の取り組み状況調査	10/20 R3年度の取り組みの振り返り、関係市村の取り組み状況調査(R3、4年度)及び水辺活用事業について情報共有(メール送付) 1/5 関係市村の取り組み状況調査(R4年度)及び水辺活用事業について情報共有(メール送付)	予定どおり															まちづくり推進課 長谷川	025-226-2711 (内32711)	27	
28	移住・定住促進	人口減少に対応するため、各市町村の魅力や移住促進支援策等の情報発信を相互に行うとともに、移住交流イベント等へ共同出展し、東京圏等からの移住・定住促進に取り組む。また、産業界と協力して圏域内企業への就業促進に向けた取組を行うとともに、就業環境等改善に取り組む市内企業への支援を行う。	イベント共同出展の回数	—	1回	1回	年1回	9月以降随時 圏域内就職促進に向けた取組(働き方改革セミナーの開催) 12月 次年度に向けた各市町村間での意見交換 3月 圏域内企業の魅力PR(企業PR冊子の発行)未定 移住交流イベント等への共同出展(未定)	9月7日 働き方改革セミナー実施 12月29日～1月3日 合同移住相談会(オンライン)実施	予定どおり															雇用政策課 山田	025-264-1642 (内31642)	28	
29	災害時相互援助	「災害時における近隣市町村相互援助協定」に基づき、災害時において各市町村が相互に援助しながら、応急対策及び復旧活動に取り組むとともに、国土強靱化地域計画に関する情報共有を図る。	相互援助に関する情報交換の実施回数	1回	1回	1回	年1回	2月～3月 災害に関する諸課題等についての意見交換や情報共有	2月～3月 災害に関する諸課題等についての意見交換や情報共有(予定)	予定どおり															防災課 危機対策課 尾暮	025-226-1142 (内31142)	29	
30	再生可能エネルギーの地産地消事業	圏域の再生エネ(太陽光・風力・水力・廃棄物含むバイオマス)拡大や電力の地産地消の推進、圏域内の公共施設への再生エネ電力の供給(地域新電力会社を活用)などを目指し、勉強会の開催、事業化の検討を実施する。	新潟市を介して契約に至った圏域内の再生エネ供給件数	—	3件 (電源調達含む)	3件 (電源調達含む)	5件	10月～12月 担当者勉強会開催 (ブロックチェーン技術を活用した再生可能エネルギーの地産地消証明について)	・11月 勉強会開催 (水産社会に向けた取り組みについて情報共有) ・3月 勉強会開催予定 (ブロックチェーン技術を活用した再生可能エネルギーの地産地消証明について)	予定を上回る	年1回開催の予定を3回開催した(予定含む)。														環境政策課 宮川	025-226-1357 (内31357)	30	
31	広域交通(県内都市間高速バス)維持	県内都市間高速バスについて、利用状況を把握した上で、利用者の移動実態に合わせた運行形態を確認し、利用促進策を講じるとともに、事業者による自主運行が厳しい場合、代替策の検討及び行政による運行や支援を連携して行う。	広域交通維持に関する意見交換会の開催回数	1回	1回	1回	年1回	10月 今年度から連携して取り組むソフト施策等についてスケジュールに基づき実施 随時 各市町村において、地域ニーズの把握に努め、連携の可能性や必要性がある具体的な取り組みを検討し、随時調整	・9月に実施した意見交換会に基づき、必要に応じて、連携して取り組むべき課題の解決に向けた協議・調整を行った。	予定どおり															都市交通政策課 高橋	025-226-2730	31	
32	生活交通(地域間幹線系統バス路線)維持	地域間幹線系統バス路線における利用状況を把握した上で、利用者の移動実態に合わせた運行形態を確認し、連携して利用促進策や維持活性化策を講じる。	生活交通維持に関する意見交換会の開催回数	1回	1回	1回	年1回	10月 今年度から連携して取り組むソフト施策等についてスケジュールに基づき実施 随時 各市町村において、地域ニーズの把握に努め、連携の可能性や必要性がある具体的な取り組みを検討し、随時調整	・9月に実施した意見交換会に基づき、必要に応じて、連携して取り組むべき課題の解決に向けた協議・調整を行った。	予定どおり															都市交通政策課 高橋	025-226-2730	32	
33	生活交通(コミュニティバス)確保	地域間幹線系統バス路線によりカバーされていない地域において、移動実態を把握した上で、社会実験などを行いながら、行政が主体となり市町村をまたぐコミュニティバスの運行を連携して行う。	生活交通確保に関する意見交換会の開催回数	1回	1回	1回	年1回	10月 今年度から連携して取り組むソフト施策等についてスケジュールに基づき実施 随時 各市町村において、地域ニーズの把握に努め、連携の可能性や必要性がある具体的な取り組みを検討し、随時調整	・9月に実施した意見交換会に基づき、必要に応じて、連携して取り組むべき課題の解決に向けた協議・調整を行った。	予定どおり															都市交通政策課 高橋	025-226-2730	33	

NO	事業名	事業内容	成果指標	現状値 (R1年度)	【参考】 実績値 (R2年度)	実績見込 (R3年度)	目標値 (R6年度)	後期スケジュール	後期進捗状況		連携する市町村										新潟市担当・連絡先		NO				
									進捗概要	予定との比較	左欄が「予定どおり」 以外の場合の理由	三条	新発田	加茂	燕	五泉	阿賀野	胎内	聖籠	弥彦	田上	阿賀		課・担当者	電話番号		
34	パーク&ライド推進	現状の移動実態を把握した上で、新たに公営パーク&ライドとして活用できる駐車場整備適地の検討を行うとともに、既存の公営パーク&ライド駐車場の相互利用促進を図る。	パーク&ライド推進に関する意見交換会の開催回数	1回	1回	1回	年1回	10月 今年度から連携して取り組むソフト施策等についてスケジュールに基づき実施 随時 各市町村において、地域ニーズの把握に努め、連携の可能性や必要性がある具体的な取り組みを検討し、随時調整	・9月に実施した意見交換会に基づき、必要に応じて、連携して取り組むべき課題の解決に向けた協議・調整を行った。	予定どおり															都市交通政策課 高橋	025-226-2730	34
35	国道等整備	新潟市と連携市町村の交流・連携強化のため、道路ネットワーク機能を充実する国道等の整備を推進する。	国道供用延長	655.8km	657.2km	現時点で数値不明	661.8km	・国道等の整備推進 ・情報共有	・国道等の整備	予定どおり															道路計画課 高橋 農村整備・水産課 鈴木・小山内	道路計画課 025-226-3041 (33041) 農村整備・水産 025-226-3041	35
36	出会い・結婚サポート事業	結婚希望者の出会いの機会を増やすため、圏域市町村住民が参加対象となる各市町村婚活イベント等の相互PRを実施するとともに、婚活イベントの共同開催検討・実施や圏域住民を対象とする民間事業者の取組への支援などを行う。	圏域内での協力したイベント開催回数	8回	0回	2回	8回	11月～ 状況に応じて可能な範囲で事業実施 ※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ判断	新型コロナウイルス感染症の状況が不安定なため、積極的な広報協力依頼は行わなかった。また、他の連携市町村からの広報協力依頼は、阿賀野市及び五泉市から各1件あり、市庁舎ロビーにイベントチラシを設置した。	予定どおり														こども政策課 企画管理グループ 佐藤	025-226-1193 内線 31194	36	
37	職員研修交流	各市町村で行っている職員研修に派遣交流することで、異なる角度での物の見方や、課題解決に向けた手法の検討などを通じ、職員の資質向上を図る。	職員研修交流市町村数	5市町村	5市町村	6市町村	7市町村	意見交換結果に基づき、効果的な研修について研修交流を実施	研修交流の振り返りと、今後の交流方法について書面により意見交換を実施し、「女性リーダー育成研修」開催に向け各市町村からの受講者募集(6市町村)を行ったが、感染症拡大傾向がみられたことから急遽中止とした。	予定を下回る														総務部人事課 木村	226-2493 (内32493)	37	
38	水道分野専門別研修	新潟市が開催している水道分野の各専門技術研修について、連携市町村の各事業体職員も受講することで、専門的な知識や技術力の向上を図る。	合同研修会の開催回数	2回	2回	2回	2回	11月上旬 後期専門別研修開催	研修資料を希望した4町村へ送付。 (三条市、新発田市、燕市、聖籠町) ※コロナ禍のため職員の受入れは中止	予定を変更														水道局総務課 北澤・佐藤	025-232-7363 (ダイヤルイン)	38	
39	教職員人材育成	各市町村が独自に行っている教職員研修等に相互に参加できる体制を整えるため、新潟県及び各市町村間で情報交換と検討を行う。	教職員人材育成に関する情報交換の実施回数	1回	1回	2回	年1回	○ 2月上旬 県内大学と新潟県・新潟市との連携協議会において、教職員人材育成に関する情報交換の実施	○2月2日実施予定 県内の教員養成学部を擁している大学と、新潟県・新潟市との教職員人材養成に関する情報交換を実施する予定	予定どおり														教育委員会事務局 学校人事課 金山	025-226-3234	39	
40	職員派遣交流	新潟市と連携市町村の間において職員の人事交流を行い、業務を通じた職員の連携強化等を図る。	職員派遣交流市町村数	4市町村	4市町村	4市町村	6市町村	2月まで 他自治体と情報交換しながら、今後の職員派遣交流の効果を検討(派遣交流を行う場合は、派遣職員を決定)	これまでの職員交流実施による成果及び課題を精査するため、次年度からの派遣の一旦休止を決定。	予定を変更														総務部人事課 大野	226-2489 (内32489)	40	
41	教職員交流	各市町村における先進的な取組を情報共有し、各学校へフィードバックすることを目的として、教職員の人事交流について情報交換と検討を行う。	教職員交流に関する情報交換の実施回数	2回	0回	1回	年1回		(前期に県教委と連携市町村教委との人事管理懇談会を実施済)	予定どおり														教育委員会事務局 学校人事課 金山	025-226-3234	41	